



武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園

グローバルファイナンス Global Real Estate & Facilities ジャパン
大阪&サイトファシリティオペレーションズ 京都薬用植物園
坪田 勝次



私たちは、患者さんに寄り添うことを常に第一に考えています。

そのうえで、人々との信頼関係の構築、社会的評価の向上、事業の発展という順番での日々の行動へのこだわりが、タケダを際立たせていると信じています。

クリストフ・ウェバー
代表取締役社長CEO

患者さんを支えて
244年間



Takeda Executive Team



CEO



クリストフ・ウェバー¹
代表取締役 社長 CEO



ジュリー・キム²
次期CEO

Business Units



ロンダ・パチエコ
U.S. ビジネスユニット
プレジデント



ジャイルズ・
プラットフォード
インターナショナル
ビジネスユニット
プレジデント



宮柱 明日香
ジャパンファーマ
ビジネスユニット
プレジデント



テレサ・ビテッティ
グローバルオンコロジー
ビジネスユニット
プレジデント



ラミー・リアド
プラズマデライブド
セラピーズ ビジネスユニット
プレジデント

Business Functions



アンドリュー・プランプ
取締役、リサーチ &
デベロップメント
プレジデント



マルチェロ・アゴスティ
インテリム ヘッド
ストラテジー&ポートフォリオ
デベロップメント



オーニー・ファラジャラ
グローバル メディカル
オフィサー



エレイン・シャノン
グローバル サプライ &
クオリティ プレジデント



ガブリエレ・リッチ
チーフ データ&テクノロジー
オフィサー

Business Partner



古田 未来乃
取締役、チーフ
フィナンシャル オフィサー



ニコラ・グリーンウェイ
チーフHRオフィサー



ナタリー・ファーニー
グローバル
ジェネラルカウンセル



ローレン・デュプレイ
チーフ トランスフォーメー
ション オフィサー



ジェニファー・スモーター
チーフ コミュニケーションズ &
ガバナンス オフィサー



天川 晶子
CEO チーフ オブ スタッフ

グローバルなバイオ医薬品企業



グローバル本社

東京 日本橋

グローバルハブ

**米国 マサチューセッツ州
ボストン地区 ケンブリッジ**

6

新規候補物質が
第3相臨床試験に
進展

グローバル拠点

約80 の国・地域

22

グローバル
製造拠点

2

研究拠点

135+

積極的な
パートナーシップ

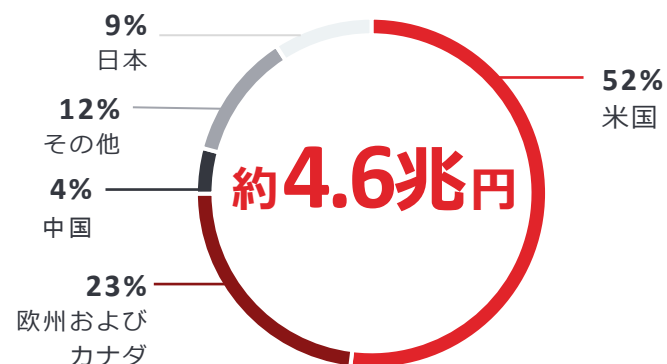
革新的なアイデアを実現するために

24カ国

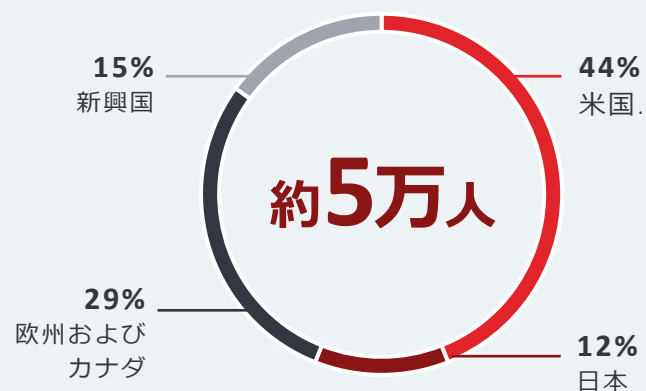
TOP EMPLOYER® 認定

2025年6月時点（一部データを除く）

2024年度売上収益



2025年3月31日時点



2024年6月30日時点

創業

1781年

大阪 道修町

従業員

私たちの存在意義 世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献する

私たちが目指す未来 すべての患者さんのために、ともに働く仲間のために、いのちを育む地球のために。
私たちはこの約束を胸に、革新的な医薬品を創出し続けます。

私たちの価値観：タケダイズム タケダイズムとは、まず**誠実**であること。それは**公正・正直・不屈**の精神で支えられた、私たちが大切にしている価値観です。
私たちはこれを道しるべとしながら、「1. 患者さんに寄り添い (**Patient**)
2. 人々と信頼関係を築き (**Trust**) 3. 社会的評価を向上させ (**Reputation**)
4. 事業を発展させる (**Business**)」を日々の行動指針とします。

私たちの約束

PATIENT

すべての患者さんのために

- 希少疾患を含め、多くの患者さんが開発を待ち望んでいる医薬品とワクチンを、可能な限り早く、かつ高品質でお届けできるよう全力を尽くします。
- 持続可能な医療システムの確立に向けて、さまざまな人々と幅広いパートナーシップを結びます。

PEOPLE

ともに働く
仲間のために

- 目指す未来を共有しながら、一人ひとりが自分の可能性を引き出し、お互いの個性を認め合う、多様性にあふれた先進的な組織を築きます。

PLANET

いのちを育む
地球のために

- 地球の生態系と人々の健康を守るために、タケダの先端技術を結集し、環境に対する高い問題意識をもって、世界をリードします。

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

- データに基づき、成果にフォーカスした、最も信頼されるバイオ医薬品企業に変革するよう努めます。



タケダ サステナビリティ フレームワーク



PATIENT

すべての患者さんのために



PEOPLE

ともに働く仲間のために



PLANET

いのちを育む地球のために

人々の暮らしを豊かにする革新的な
医薬品の創出に取り組みます

患者さんや社会にとって有意義な
価値を提供します

私たちの医薬品を、迅速かつ公平に
世界中の人々にお届けします

生涯学習を支援し、より良き人材を
育成します

多様性、公平性、包括性(DE&I)を
推進します

従業員が心身ともに健康な職場環境を
創ります

温室効果ガス排出量「ネットゼロ」を
達成します

自然環境の保全に寄与します

環境に配慮した製品を設計します

データとデジタルの力で、イノベーションを起こします

持続的なビジネスの成長

京都薬用植物園の概要



所在地：京都市左京区一乗寺
(修学院離宮・曼殊院門跡・詩仙堂)

植物保有数： 約3,100種

薬用植物保有数： 約2,000種

絶滅危惧植物保有数： 270種
(国内希少野生動植物種数 23種)

標本数：生薬 約 5,000点
腊葉 約40,000点

(牧野富太郎博士・南方熊楠翁 作製含む)

2026年4月1日時点



2024年1月31日 博物館法第14条第2項の規定に基づき登録博物館に登録

広さ 94,000 m² (約29,000坪)



出典：Google Earth (閲覧日：2026年4月17日)

広さ **94,000 m²** (約29,000坪)



東京ドーム

出典：写真AC (閲覧日：2024年9月4日)

出典：Google Earth (閲覧日：2024年9月4日)



32°N 135°48'16"E 170 m

沿革 (園全体)



■ 1933年 (昭和8年) 社長・五代武田長兵衛 京都武田薬草園を開設

→ 目的：医薬品の研究材料のための薬用植物の基礎研究および生産
後社長・六代武田長兵衛の出資で曼殊院より土地の一部を譲受

■ 1943年 (昭和18年)

■ 1945年 (昭和20年)

→ 目的：天然物由来の薬用植物の生産
株式会社武田長兵衛商店

約60年間 研究開発を通して
人々の健康への貢献

に改称



■ 1994年 (平成6年) 本社総務人事部・京都薬用植物園に改称

→ 目的：薬用植物の収集・保存・栽培を中心に活動
研究所の筑波移転を

■ 2010年 (平成22年)

→ 目的：生物多様性保全
事務棟と研修棟を新設
世界中の人々と自然環境

約30年間 生物多様性保全を通して
地球の健康への貢献

を通して



いのちを育む地球のために ～生物多様性保全に向けた取り組み～



生物多様性保全



【医療分野】

- ・ いまだ有効な治療方法がない疾患に対する医療ニーズ（アンメット・メディカル・ニーズ）は、数多く存在する
- ・ 5～7万種もの植物からもたらされた物質が人類の医療を支える**医薬品の成分**に貢献しているといわれている



【地球の生物多様性】

- ・ 2024年の世界の「生きている地球指数（LPI）」によれば、1970年から2020年の間、**野生生物の個体群は平均73%減少**している（『生きている地球レポート2024』世界自然保護基金ジャパン）

多様な生物が失われると  将来の新薬候補を失うリスク
生態系の変化による健康リスク

生物多様性の保全は、創薬の土台を守ること

パーパス (Purpose)

植物遺伝資源を利活用して地球の健康と、輝かしい未来に貢献する



守る



つなぐ



伝える

ビジョン (Vision)

世界中の人々と自然環境のために、生物多様性保全活動を推進しつづけます。
生物多様性に働きかける3つのアクション（「**守る**」、「**つなぐ**」、「**伝える**」）

非財務資本としての価値向上

社会・文化・教育・国際連携を担う多機能型薬用植物園



取組を通じて企業が植物園を保有・運営することの意義と意味について社会に周知

企業が運営する植物園という新たな価値創造モデルを広げる

研究機関・教育機関との連携協働／業界の垣根を超えた異分野施設との学際的取組

京都薬用植物園がおこなう24のアクション

守る

つなぐ

伝える



- 01 見学研修会、各種イベント・セミナーなどの企画実施
- 02 ツバキの系統保存（約500品種）
- 03 京都大学 上賀茂試験地と連携した国際種子交換事業の推進
- 04 京都水族館との希少生物の保全普及活動
- 05 文化財の匠プロジェクトへの参画**
- 06 京の伝統野菜の系統保存
- 07 葵プロジェクト 上賀茂神社 葵祭への奉納
- 08 五條天神宮 節分祭への神杓奉納
- 09 日本植物園協会 植物多様性保全拠点園ネットワーク事業への参画
- 10 環境省 自然共生サイト認定地の管理・利活用
- 11 環境省 希少野生動植物種の普及啓発
- 12 「Takedaの杜」京都市民との市民の庭づくり
- 13 大学・地域保全団体・NEXCO西日本との希少種保全の連携
- 14 チマキザサ再生委員会との保全に係る連携
- 15 京都市衛生環境研究所へ「京の植物エリア」展開
- 16 京都伝統文化の森プロジェクトとの連携
- 17 ショクダイオオコンニャクのさく葉標本の普及活動
- 18 小笠原諸島固有の絶滅危惧植物の保護増殖
- 19 八重山諸島キナノキ復元計画
- 20 京都市動物園との連携に基づいた教育普及活動
- 21 京都市教育委員会・京都市青少年科学センターとの連携
- 22 さすてな京都との児童向け環境教育プログラムの開発
- 23 大学教員との薬用植物の栽培に関する共同研究
- 24 京都大学大学院 薬学研究科との大学生対象の教材開発における連携

2025年4月1日時点

私たちはこのようなアクションを通して、世界中の人々と自然環境のための活動を推進しつづけます。

日本の文化財保存と継承に関わる取組

- 選定保存技術保存団体への植物由来材料の提供



文化庁

「文化財の匠プロジェクト」策定
選定保存技術の保持者・保存団体の認定



選定保存技術保存団体として認定

(一社) 国宝修理装演師連盟
(一社) 伝統技術伝承者協会

表装裂の染色・和紙製作のための楮
(こうぞ) の煮熟に椿灰を使用



国宝修理装演師連盟HPより

植物由来の材料
(椿灰) の提供



植物由来の材料
(椿灰) の提供
(分析用)

京都薬用植物園における取組

現在、約500品種のツバキを継続して保全
成長を促す目的で整枝剪定を毎年実施
大量の枝葉が廃棄物として産出



文化遺産全般の調査研究
保存科学・修理技術に関する調査研究
文化遺産に関する国際協力

文化財保存・継承の一助となり、加えて、持続可能な循環型社会の実現にも貢献する

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



- ①原材料確保に向けた取り組み（椿灰）
- ②トクサの安定的材料供給に向けた取り組み（国内全土から導入）
- ③クワの系統保存に向けた取り組み（京都工芸繊維大学、信州大学連携）
- ④ガンピの自生地調査を中心とした生育特性調査（西宮ナシオン視察調査）
- ⑤ノリウツギの系統保存ならびに生育特性調査（標津町系統導入）
- ⑥コウゾの自生地調査ならびに品種・系統別外部調査（奈良県・高知県）
- ⑦トロロアオイの系統保存ならびに長期保存用種子確保（鈴木先生）
- ⑧文化財エリア「文化創造の森」の設置に向けた取り組み（国内初・10月開園）



植物名	学名	成分	薬効
ツバキ	<i>Camellia japonica</i>	ロイコシアニジン グリセノド	軟膏基材
トクサ	<i>Equisetum hyemale</i>	バレストリン ジメチルスルファン	収斂 止血 消炎 利尿
クワ	<i>Morus alba</i>	グアニン アデニン	消炎利尿 解熱 鎮咳
ガンピ	<i>Diplomorpha sikokiana</i>	リグニン ベントザン ペクチン	紙原料
ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i>	クマリン酸 キシロース ガラクトース	洗髪料 疥癬
コウゾ	<i>Broussonetia x kazinoki</i>	リグニン タンニン セロチン酸	利尿 滋養強壮 皮膚炎

出典：原色牧野和漢薬大図鑑（北隆館）



令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



原材料確保に向けた取り組み（椿灰）

【公益社団法人日本植物園協会】 ナショナルコレクション

認定番号001

武田薬品京都薬用植物園命名ツバキ品種群

Camellia cultivars named by Takeda Garden
for Medicinal Plant Conservation, Kyoto



認定日：2018年6月19日、認定期間：2018年6月19日～2023年6月18日

江戸時代のツバキの園芸化は、ヤブツバキとユキツバキの両種が自生し、幅広い変異が見られる北陸産によるところが大きい。これらは高度成長期に消滅の危機に瀕していたが、申請者によって1956年より調査、収集が行われ、155品種が新品種として命名された。コレクションは、命名された新品種のうち現存する121品種の基準木である。

【コレクションホルダー】 武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園
【所在地】 〒606-8134 京都府京都市左京区一乗寺竹ノ内町1-1番地
【問合せ先】 電話：075-781-6111 e-mail: Takeda_Garden@takeda.co.jp
【公開の状況】
原則非公開としているが、ツバキの開花期にはホームページからの申込みで指定日時のみ一般公開を実施している。

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



原材料確保に向けた取り組み（椿灰）

富山県、石川県、新潟県より導入した品種 八重～千重		富山県、石川県、新潟県より導入した品種 一重		富山県、石川県、新潟県より導入した品種 大輪		
美しい女人 あきよう	柘榴石 ざくろいし	葉隠れ はがくれ	地名 かけはた	香一番 ほろいちばん	政所 まんどころ	
春の訪れ はるのおとずれ	枕草子 あざぼらけ	朝陽 あさばらけ	小雀 こすずめ	弥生 3月 やよい	長春 ちようしゆん 常に春	
微笑 ほおえみ	富山県、石川県、新潟県より導入した品種 宝珠咲き、唐子咲き、獅子咲き		京都府（伏見桃山）より導入した古木 株式会社増田徳兵衛商店（月の桂）の協力で入手		京都府（伏見桃山）より導入した古木	
宝珠砂子 ほうしゆすなご	宝珠 ほうしゆ	修学院 しゆがくいん 秋咲き	立性	伏見 ふしみ	伏見の雪 ふしみのゆき	
手始 ことはじめ	群獅子 むれしし	富貴媛 ふうきひめ 身分が高い	やや横張り性	桃太郎 ももたろう 宝珠咲き	桃山 ももやま 唐子咲き	

原材料確保に向けた取り組み（椿灰）

**開園 昭和31年
(1956年)**

当時は戦後復興が優先され、一般に椿についての関心が少なく、放置されたままの状態であった。

当社六代目武田長兵衛がそれらを後世に残す目的で収集を進めるよう指示した。

- ①北陸地方のユキツバキ系品種
- ②京都の武家屋敷に伝わるツバキの古木
- ③門外不出の寺社などにある銘椿
- ④旧来の品種



令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



乾燥作業（剪定枝）



乾燥作業（剪定枝）





【SANWA（三和式）焼却器120型】

- 【商品名】 焼却器120型
- 【用途】 家庭用焼却器
- 【外形寸法】 直径φ50cm×高さ60cm（煙突組立高さ:150cm）
- 【材質】 ステンレス製
- 【概略質量】 約13Kg
- 【特徴】 耐熱耐候性に優れています。
- 【メーカー】 三和式ベンチレーター（株）
- 【梱包サイズ】 横54cm×奥行54cm×高さ75cm（約14.7k）



錆の発生が見られない
ステンレス製の焼却炉
の試み

【注 意】 廃棄物の処理及び清掃に関しては、市町村により条例等が制定されている場合もあります。廃棄物処理法施行令第14条において、公益上若しくは社会の慣習上やむを得ないもの又は周辺地域の生活環境に与える影響が軽微な下記の場合においては例外とされています。四 農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却五 たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であつて軽微なもの

1日目

2日目

3日目



燃焼作業

冷却作業

調製作業



焼却の流れ

椿灰の授受式 を開催

2024年度 (30kg)

一般社団法人 国宝修理装演師連盟

一般社団法人 伝統技術伝承者協会



2025年度 (30kg)

一般社団法人 国宝修理装演師連盟

一般社団法人 伝統技術伝承者協会

一般社団法人 文化財修理表装裂継承協会



日本植物園協会第60回記念大会にて 口頭発表ならびに協会誌に投稿

会場：アクトシティ浜松コンgresセンター

2025年5月27日



武田薬品・京都薬用植物園が取り組む 「文化財の匠プロジェクト」への貢献

～文化財修理・修復のための用具・原材料の保存・継承・確保に向けて～

Takeda Garden for Medicinal Plant Conservation, Kyoto's contribution
to the "The Project of Experts for Cultural Properties"
— toward the preservation, transmission, and securing of tools and
raw materials for the restoration and conservation of cultural properties —

坪田 勝次*・栗本 恵実・阿部 雅彦・千田 泰弘・太田 己翔・野崎 香樹
Katsuji TSUBOTA*, Emi KURIMOTO, Masahiko ABE,
Yasuhiro SENDA, Misyo OTA, Koju NOZAKI

武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園
Takeda Garden for Medicinal Plant Conservation, Kyoto

要約：武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園は、文化財の保存修復に不可欠な用具・原材料の安定供給体制の構築において、文化庁が推進する「文化財の匠プロジェクト」の趣旨に呼応して、文化財修理に用いられる「椿灰」の製造・提供を通じて、文化財保存技術の持続的継承に資する実践を展開している。2024年2月には文化庁立ち会いのもと授受式を実施し、目標を大きく上回る30kgを関係団体に供給した。さらに、修理・修復に用いられる植物資源の枯渇や供給不安に対応すべく、系統保存や域外保全、試作栽培を進めている。今後は、文化財保護の社会的意義と植物資源の重要性を広く発信するため、一般の来園者や医療・薬学関係者への教育・啓発を目的とした「文化創造の森」の整備を進めており、文化財保存における植物園の新たな社会的機能の創出を目指している。

キーワード：修理・修復、匠プロジェクト、椿灰、文化財、文化庁

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業 (永続的に椿灰を提供するための材料確保→協力園・施設)



京都府立植物園



京都大学



曼殊院



宇治市植物公園



武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園



トクサの安定的材料供給に向けた取り組み

Equisetaceae
トクサ科



美術院岩下様より

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



トクサの安定的材料供給に向けた取り組み



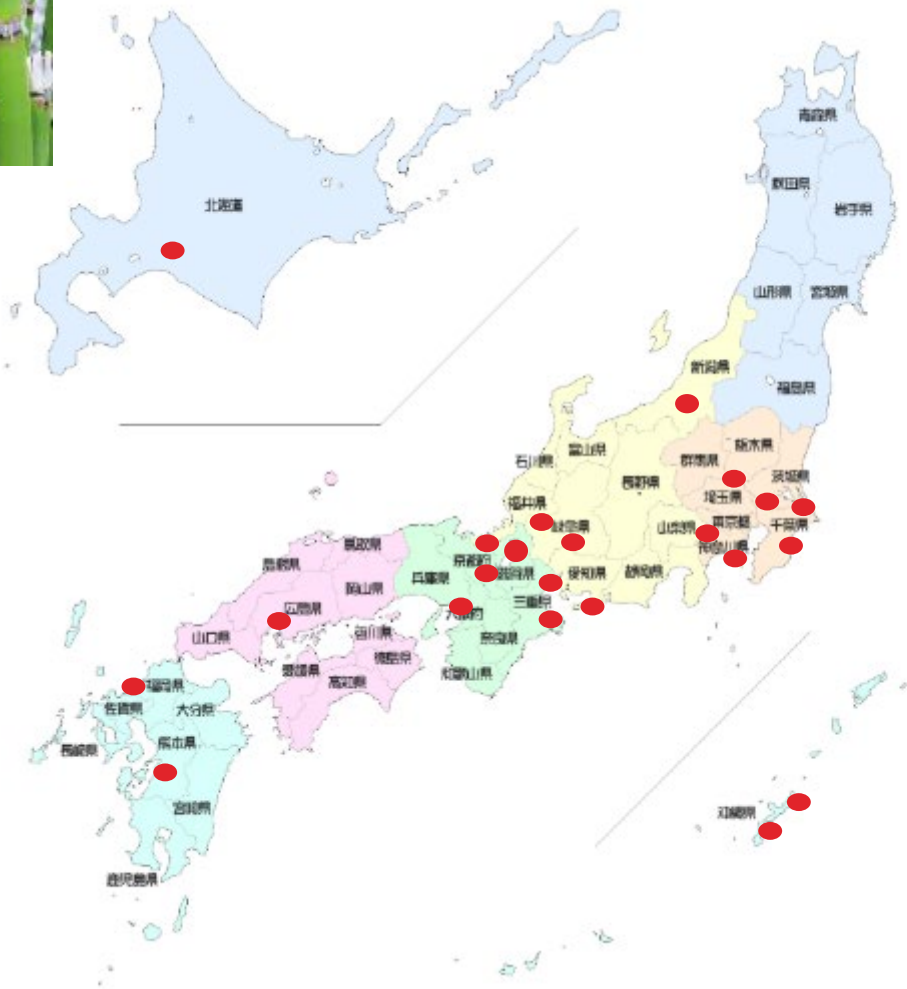
<トクサ>

トクサは北半球の温帯に広く分布する常緑のシダ植物で、日本では本州の中部以北、北海道に分布しています。茎は直立して枝はなく、茎の先端に写真のような孢子囊穂をつくります。日本では鑑賞用として、日本庭園に植えられたり、鉢で栽培されることもあります。栽培品には、茎が黄色になるもの、黄色の虎斑が入るものなどがあるようです。トクサの表面はざらざらしており、茎を煮て乾かしたものを、木工品などを磨くのに利用していました。砥草（トクサ）という和名がついたのはこのためといわれています。トクサは薬用としても利用され、生薬名を木賊（もくぞく）といい、利尿作用がある他、下痢や眼病にも利用されます。夏や秋に地上部を刈り取って、乾燥させたものを利用します。

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



トクサの安定的材料供給に向けた取り組み



No.	導入年	導入日	都道府県	施設名	植物名	導入番号
1	2024	5.7	京都市	日本新薬	トクサ	x24-084
2	2024	5.7	京都市	文化財美術院岩下様	トクサ	x24-085
3	2024	5.9	三重県	三重県桑名市	トクサ	x24-088
4	2024	5.9	三重県	三重県桑名市	イヌドクサ	x24-089
5	2024	5.25	東京都	東京大学小石川植物園	トクサA	x24-090
6	2024	5.25	東京都	東京大学小石川植物園	トクサB	x24-091
7	2024	5.25	千葉県	日本大学薬学部	イヌドクサ	x24-092
8	2024	5.25	千葉県	日本大学薬学部	オオトクサ	x24-093
9	2024	5.25	千葉県	日本大学薬学部	トクサ	x24-094
10	2024	6.20	愛知県	東山植物園	トクサ	x24-99
11	2024	6.20	福岡県	福岡市植物公園	トクサ	x24-100
12	2024	6.25	熊本県	熊本大学薬学部	チシマヒメドクサ	x24-101
13	2024	6.25	熊本県	熊本大学薬学部	イヌドクサ	x24-102
14	2024	7.18	岐阜県	内藤記念博物館	トクサ	x24-127
15	2024	9.4	京都市	京都市西京区桂川河川敷	トクサ	x24-261
16	2024	9.4	千葉県	東邦大学	トクサ	x24-262
17	2024	9.4	沖縄県	沖縄県立美ら島財団	トクサ	----
18	2024	9.4	沖縄県	沖縄県立美ら島財団	イヌドクサ	----
19	2024	9.4	大阪府	咲くやこの花館	トクサ	x24-260
20	2024	9.4	広島県	広島市植物公園	トクサ	x24-259
21	2024	9.24	神奈川県	北里大学	トクサ	x24-266
22	2024	9.24	京都府	武田薬品京都薬用植物園保存圃	トクサ	----
23	2024	9.24	京都府	武田薬品京都薬用植物園樹木園	トクサ	----
24	2024	9.24	千葉県	東京大学大学院薬学系付属薬用植物園	トクサ	x24-267
24	2024	10.2	愛知県	豊橋総合植物園	トクサ	x24-271
24	2024	10.15	新潟県	新潟県立植物園	イヌドクサ	x24-272
25	2024	10.15	新潟県	新潟県立植物園	イヌドクサ	x24-273
26	2024	10.15	新潟県	新潟県立植物園	テドリドクサ	x24-274
27	2024	11.2	北海道	北海道大学植物園	トクサ	x24-281
28	2024	11.2	北海道	北海道大学植物園	ヒメトクサ	x24-282

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



トクサの安定的材料供給に向けた取り組み



Equisetum hyemale
トクサ

わが国の本州、中部地方以北から北海道、それに北半球に広く分布しています。水辺に生え、高さは1メートルほどになります。茎は中空です。夏、茎の先端に孢子嚢をつけます。和名は、砥石の代用の草という意味で、木材や金属の研磨に使用されました。また漢方では「木賊（もくぞく）」と呼ばれ、止血や解熱剤として使われるようです。中国語では「木賊（mu zei）」と呼ばれます。



Equisetum praealtum
オオトクサ

外来生物

北アメリカおよびアジア北東部に分布しています。池や湿地、河岸などの水辺に生え、高さは1.5～2メートルほどになります。茎は直立して、大きく密集した群落を形成します。茎には目立った節があり、各節の周りには、小さな暗色をした三角形の鱗片状の葉が輪状に並びます。この茎には有性芽と無性芽の両方があり、有性茎の先端に形成される孢子嚢群によって繁殖します。以前は「とくさ（木賊）」の亜種または変種として広く扱われていました。中国語では「無瘤木賊（wu liu mu zei）」と呼ばれます。

出典 大阪市立大学付属薬用植物園資料

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



トクサの安定的材料供給に向けた取り組み



Equisetum variegatum
チシマヒメドクサ

環境省レッドリスト
絶滅危惧 I A類 (CR)

わが国では北海道だけですが、北半球の温帯北部地域に広く分布しています。湿地に生え、高さは10～30センチになります。「とくさ（砥草）」を小さくした感じで、節の模様が目立ちます。ふつうには「ひめどくさ（姫砥草）」と呼ばれています。中国語では「斑紋木賊（ban wen mu zei）」と呼ばれます。



Equisetum scirpoides
ヒメドクサ

わが国の北海道をはじめ、北半球北部に広く分布しています。湿地に生え、高さは10～20センチになります。地下茎で広がり、茎を叢生させます。茎は円柱形で、直径5ミリほど、表面には細かい溝が縦に走っています。葉は鞘状で、節につきます。6月から8月ごろ、茎頂に長さ2～3ミリの孢子穂をつけます。



Equisetum ramosissimum
イヌドクサ

わが国の本州から四国・九州それに台湾や朝鮮半島、中国、ヨーロッパ南部、アフリカに分布しています。河原や海辺の日当たりの良い湿地に生え、高さは60～100センチになります。地下茎は地中を匍匐して広がり、地上茎は直立します。茎は直径3～5ミリの円筒形で節があり分枝します。4月から7月ごろ、茎頂に「つくし」のような孢子嚢をつけます。台湾華語では「木賊」、中国語では「節節草（jie jie cao）」と呼ばれます。

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



クワの系統保存に向けた取り組み（京都工芸繊維大学・300種）



2023年10月24日
 京都工芸繊維大学 応用生物学科系資源昆虫学教室視察
 長岡先生 秋野センター長

クワ	10	11	12	13	14
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

ヤマグワ	1	2	3	4	5	6	7	8
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

不	19	20	21	22	23	24
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

カシヤマグワ	15	16	17	18
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



クワの系統保存に向けた取り組み（信州大学・50種）



2024年5月24日
信州大学 繊維学部応用生物科学学科視察
塩見先生 松村先生 白井先生 伊藤さん

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



ガンピの自生地調査ならびに植物生育特性調査（西宮名塩）



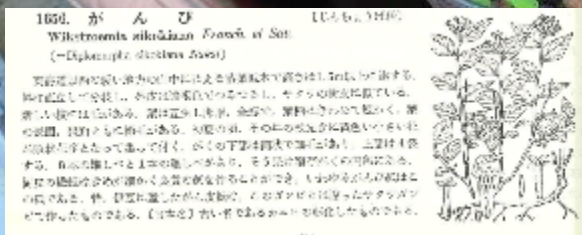
令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



ガンピの自生地調査ならびに植物生育特性調査（西宮名塩）



- 【適正土壌比較】
- 赤玉土（小粒）+腐葉土 2区
1 : 1
 - 赤玉土（小粒）+腐葉土 2区
3 : 1
 - 赤玉土（中粒）+腐葉土 2区
1 : 1
 - 鹿沼土+腐葉土 2区
1 : 1
 - 日向土+腐葉土 2区
1 : 1



視察地：西宮名塩

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



ノリウツギの系統保存ならびに植物生育特性調査



2024年3月11日 *Hydrangea paniculata* (ノリウツギ) 300本 北海道標津郡標津町字川北94番地1 古瀬様

【東文研からの情報共有】「北海道」のノリウツギは6倍体、「関西圏」は4倍体あるいは2倍体の土地のようである。和紙生産の現場の方によると、北海道のノリウツギのネリがとてもよい。関西の地のノリウツギとは遺伝子的に異なることになりませんが大丈夫か、、、など課題となることが、、、。

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業

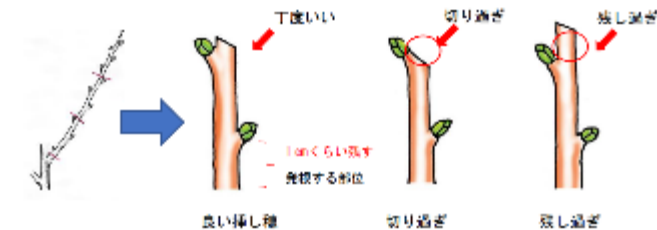


ノリウツギの系統保存ならびに植物生育特性調査

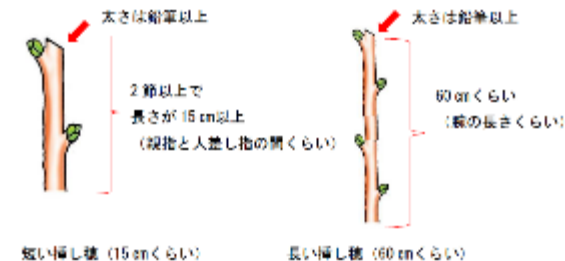


ノリウツギの挿し木の検討

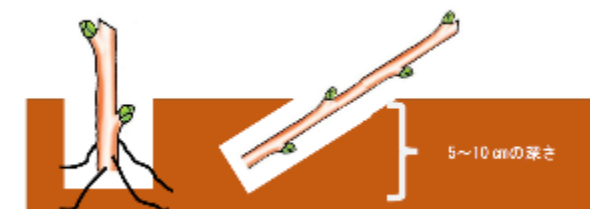
①上端と下端の切り方



②長さとおさ



③挿し方



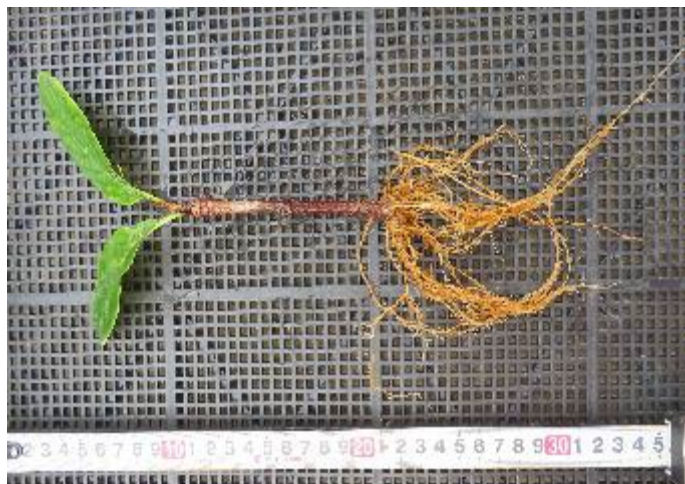
出典 東文研からの添付資料参照

2024年3月11日 *Hydrangea paniculata* (ノリウツギ) 300本 北海道標津郡標津町字川北94番地1 古瀬様

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



ノリウツギの系統保存ならびに植物生育特性調査



300本のうち、約65本に発根が見られ21%の発根率が確認された

令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



ノリウツギの系統保存ならびに植物生育特性調査



本種の若い木の樹皮は赤みを帯びるが、樹齢を重ねると淡い灰色になり薄く剥離する。樹皮は水に浸すと粘液が出る。和紙を作る際にはコウゾやミツマタの繊維を溶かした紙漉き水にノリウツギやハナオクラの粘液を加えることで、繊維を均等に分散させることができる。和紙の需要が減ったこと、シカによる食害が増えたことなどから、ノリウツギの商業的な栽培はほぼなくなったが、近年では掛け軸などの文化財修理に使う「宇陀紙（うだがみ）」を作るため、自治体などが協力して栽培を復興する例もある。

コウゾの視察（奈良県吉野・6月9日～10日）



コウゾの視察（高知県・9月29日～31日）



トロロアオイの系統保存（ハナオクラとの比較）



令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



文化財エリアの設置に向けた取り組み



散策路エリア



令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



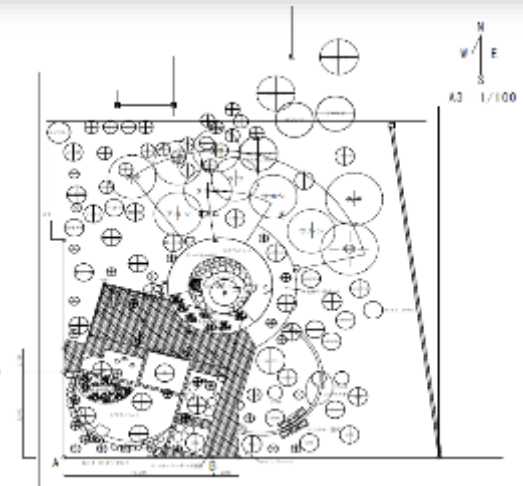
文化財エリア「文化創造の森」の設置に向けた取り組み
～2026年10月開園に向けて整備中～

【文化財研修エリア】植栽候補リスト

No.	有無	導入先	植物種	科名	分類	形状寸法		単位 本,m,m	数量	備考
						H	W			
1	△	京都工芸繊維大学	クワ	落葉性の高木または低木	クワ	10m	60cm		***	生糸・シルク
2	△	京都工芸繊維大学	クワ	落葉性の高木または低木	クワ	10m	60cm		***	生糸・シルク
3	△	信州大学	クワ	落葉性の高木または低木	クワ	10m	60cm		***	生糸・シルク
4	△	信州大学	クワ	落葉性の高木または低木	クワ	10m	60cm		***	生糸・シルク
5	○	ナシオン創造の森	ガンピ	落葉性の低木	ジンチョウゲ	1.5m~2.0m	80cm		***	和紙原料
6	○	全国数か所	トクサ(数系統)	常緑性多年性草本	トクサ	50cm~75cm	3.4~3.8cm		***	工芸品の磨き
7	○	全国数か所	オオトクサ	常緑性多年性草本	トクサ	50cm~75cm	3.4~3.8cm		***	工芸品の磨き
8	○	全国数か所	ミズトクサ	常緑性多年性草本	トクサ	50cm~75cm	3.4~3.8cm		***	工芸品の磨き
9	○	北海道標津産	ノリウツギ	落葉広葉樹 低木~小高	アジサイ	2~3m			***	美洒紙などのネリ
10	○	購入品	ノリウツギ	落葉広葉樹 低木~小高	アジサイ	2~3m			***	美洒紙などのネリ
11	×	導入先検討	ウルシ	落葉低木高木 雌雄異株	ウルシ	3m-10m	60cm		***	漆器
12	○	当園保有	ツバキ	常緑性の低木から小高木	ツバキ	5m-10m	10cm		***	染織・和紙
13	○	当園保有	トロロアオイ	多年草草本	アオイ	1m~2m	60cm		***	美洒紙などのネリ
14	×	導入先検討	キリ	落葉性高木 広葉樹	キリ	10m-15m	50cm		***	保存箱
15	×	導入先検討	コウゾ(アカソ)	落葉性低木 広葉樹	クワ	3m-11m	2~5m		***	裏打紙など
16	×	導入先検討	コウゾ(タオリ)	落葉性低木 広葉樹	クワ	3m-12m	2~5m		***	裏打紙など
17	×	導入先検討	スギ	常緑性高木 針葉樹	ヒノキ	20m-30m	50cm		***	表装建具の下地
18	○	当園保有	ムラサキ	多年性草本	ムラサキ	30~80cm			***	染織

○：導入済 △：導入予定 ×：今後導入目標

【椿灰】葉に多く含まれるアルミ成分（酸化アルミニウム）が特に染色においてはよい作用をもたらすということで、この椿灰を必要とされる人は多い。また焼き物作りの釉薬としては、酸化第二鉄などの成分が少ないので、透明釉、また黄瀬戸釉などに使用するため、必要とする人も多い。今回は和紙に供する。



令和7年度美術工芸品保存修理用具・原材料管理等業務支援事業



文化庁が推進する「文化財の匠プロジェクト」ならびに、第二次答申において示された文化財保存を取り巻く課題と将来像を踏まえると、文化財修理の持続的な継承には、個別技術や人材育成のみならず、それらを根底から支える原材料を含む基盤整備が不可欠であると認識しております。

このような問題意識のもと、武田薬品 京都薬用植物園では、薬用植物園として長年培ってきた植物資源の保全・栽培・研究に関する知見と、登録博物館としての機能を活かし、貢献が可能ではないかと考えております。

①モノ(原材料) → ②知(研究) → ③社会(発信) → ④関係性(連携)

①原材料植物の基盤的保全・供給機能

文化財保存に不可欠な植物原材料の安定確保への貢献、コウゾ、ノリウツギ、トクサ、ツバキ等、文化財修理や技術を支える植物について、栽培・系統保存・生育特性に関する知見を蓄積し、原材料確保の基盤を支える。

②調査研究・実証のための研究フィールド機能

調査研究・実証のための専門フィールドの提供・原材料植物の品質や更新サイクル等に関する栽培研究について、フィールドの提供に加え、自らも栽培・評価に取り組み、実証的な知見の蓄積につなげる。

③社会的理解促進・普及啓発機能

社会的認知度向上・普及啓発への貢献、来園者や医療関係者に対し、文化財の修理を取り巻く環境について、展示や解説、連携事業を通じて分かりやすく発信する。

④分野横断的連携・協力拠点機能

分野横断的な連携拠点としての機能、植物園や自然史系博物館等とのネットワークを活かし、原材料・技術・人材をつなぐ補完的な協力拠点として機能する。





京都薬用植物園ではこれからも様々な社外活動プロジェクトを通して、
地域社会と連携し生物多様性保全の取り組みを継続していくことで、
より良い未来を目指していきます。



Better Health, Brighter Future